

「部活動の充実」を図り たくましい生徒を育てる

和歌山県すさみ町立周参見中学校

全校生徒数	96名(男子53名 女子43名)		
全クラス数	5	教職員数	14名(内体育専科2名)
運動部活動	6	運動部活動参加率(全学年)	100%
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)			2人

実践内容

中学校

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

本校は以前から、生徒全員が運動部に所属する「全員クラブ制」をとってきました。そのため、運動の機会に恵まれている状況ですが、運動が苦手な生徒にとってはプレッシャーに感じることも多く、前向きに参加できない生徒・休みがちな生徒がいる状況でした。

2 取組の目的

- ①部活動に前向きに取り組ませることで、運動習慣を確立させ、体力の向上を図る。
- ②様々な活動内容を取り入れることで、部活動に興味をもたせ、積極的に活動に参加する態度を育てる。
- ③「体づくり運動」と関連させることにより、日頃の部活動で効率のよいトレーニングができるようにする。

取組の内容（右ページも参照）

1 部活動の改革

本校には現在、男女計6つの部活動が設置されていますが、少人数化が進み、どの部も活動していくことが難しい状況になっています。その中でも生徒たちが自分の興味のある種目を選択し、積極的に活動できるよう、練習内容を工夫したり活動の幅を広げたりしています。

2 生徒一人一人に対する働きかけ

運動に苦手意識をもち、部活動に前向きになれない生徒がいます。その生徒には顧問・担任を中心に声かけや個別相談をするほか、保護者とも連携し、家庭の協力体制をつくっています。

また、そういった生徒を意欲的に活動させるため、「勝利至上主義」ではなく、楽しい雰囲気練習を展開することや、個に応じた目標を設定させる等、運動に親しませ、個の成長を重んじる姿勢を重視しています。

3 小学生に対する意識付け

本校では小学校6年生に対して「部活動体験」と「体験授業」を実施しています。「部活動体験」については、男女それぞれが全ての部活動を体験できるようにし、自分にあったものを選びやすいように配慮しています。また、「体験授業」では、柔道の体験で武道の楽しさを伝える等、中学校の授業に親しむ重要な取組になっています。

4 ランニング同好会

今年度より始業前の時間を活用した「ランニング同好会」を設置しています。基本的には希望者による自主的な活動ですが、気軽に取り組める種目ということもあり、生徒同士の誘い合いや、教員からの声かけで「これならやってみようかな」と参加する生徒も少なくありません。

●工夫したこと

- ①部によって、他校との合同活動や男女合同での活動を取り入れることで、人数不足を補ったり、大学生との合同練習会を企画して生徒に興味をもたせる等、工夫をしました。また、機会に応じて地域のスポーツ指導者を取り入れる等、専門的な指導を受け、技術面でも精神面でも意欲を刺激できるよう工夫しました。
また、部ごとにチームを編成して、「町内駅伝大会」に参加し、ランニングトレーニングの意欲付けにしました。
個に応じた目標を設定させるための工夫としては、大会への参加や練習試合の機会を多く設定することで、短期目標を設定しやすくし、生徒自身が自分の成長を短いスパンで確認できるようにしました。
- ②ランニング同好会では、生徒のニーズに応じて、競技力向上を目的とする「選手コース」と、体力向上や健康の増進のための「ジョギングコース」に分けて取り組みました。また、教員も一緒に取り組み、「みんなで運動しよう」という意識をもたせました。
- ③「部活動体験」では、生徒が小学生に指導する形をとることで、達成感を味わわせ、自らの取組にも良い影響を与えられるよう工夫しました。

取組の成果（右上の表を参照）

- ①運動部に所属はしているが、活動に参加できない（前向きになれない）生徒も、現在は積極的に活動に参加できるようになってきました。
- ②体力合計点は、平成21年度に比べて男女ともに上昇し、特に女子が大きく上昇しました。

今後の課題

- ①同じことを続けていくだけでなく、常に新たな取組を模索し、生徒が積極的に参加したくなるような活動を企画していく必要があると考えています。
- ②男子の伸び率が小さいため、結果と取組を分析し、記録をより向上させるための工夫が必要です。

●学校質問紙調査回答より(H24)

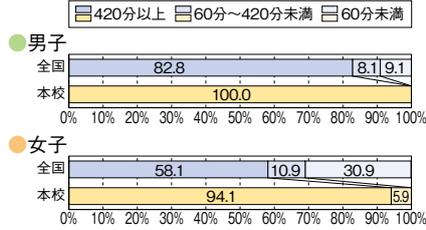
問2-2 運動習慣確立のたぐい

- 1 時間確保(休み時間)
- 2 保護者への働きかけ
- 3 地域連携
- ④運動部加入率向上
- 5 その他

問4-2 運動時間の少ない生徒に対する取組

- 1 時間確保(一斉運動)
- 2 個人差・発達の考慮
- ③体力向上の意義理解
- 4 女子への啓発
- ⑤意欲関心を高める
- 6 楽しさを感じさせる
- 7 新体力テストの活用
- 8 地域・家庭との連携
- ⑨運動部への参加促進
- 10 その他

●1週間の総運動時間の分布(H24)



●体力合計点と総合評価の割合

体力合計点(点)	男子		女子	
	H21	H24	H21	H24
総合評価(段階別)				
A	0.0	0.0	17.7	47.1
B	18.8	36.8	41.2	41.2
D	12.5	10.5	17.7	0.0
E	12.5	26.3	5.9	0.0
AB-DE	-6.2	0.0	35.3	88.3

町内駅伝大会

部活動ごとにチームを結成
チームの団結力を高める



小学生体験授業(柔道)

武道の楽しさにふれさせ、マイナスイメージを取り除く



小学生部活動体験

楽しさを知ることで、
部活動への意欲向上に
つながっている



ランニング同好会

自分にあつた目標をもって、積極的に運動に親しむ



「選手コース」



「ジョギングコース」



中学生は小学生に指導することで、
達成感を味わうことができる